

What's NEW

2022 年度報告書ができました

2022 年度の実施報告書を作成し、県内の小中高等学校等、合わせて 1577 部を発送しました。私たちが受け取った子どもたちの声を発信することができました。ご協力いただいた方々、本当にありがとうございました。ご興味のある方は事務局までご連絡ください。

受け手メンバーの交流会を行いました

受け手同士でもなかなか顔を合わせる機会もなく、シフトの交代などがいつも問題にあがっていました。そこで受け手同士の交流をオンラインでしてみようということになりました。曜日ごとに短い時間でも、自己紹介をしたりして交流することができたようです。

養成講座が始まりました

第 24 期電話の受け手養成講座が 11 月 5 日より始まりました。今年度もチャイルドラインを理解してもらい、子どもたちの心の居場所作りのためになにかしたいと集まった方々と一緒に学んでいきます

通常総会の日程が決まりました

2024 年 5 月 25 日（土曜日）10 時からオンラインにて通常総会を開催いたします。スタッフ以外の正会員の方は、メールアドレスを事務局までお知らせください。

認定 NPO として更新されました

8 月にパブリックサポートテストの基準をクリアし、認定 NPO 法人を更新することができました。無事に更新ができたのも、賛助会員やサポーター、正会員の皆さまの継続のご支援があってこそです。これからも活動が続けていけるよう、どうぞよろしく願いいたします。

代表あいさつ

テレビをつけると戦争のニュースが流れる日が多くなりました。遠い国での出来事ではなく、確実に私たちの生活にも影響が出ています。大人も子どもも不安な気持ちになるニュースが最近多いように感じます。戦地にいる子どもたちはどれほど恐怖を感じ、辛い気持ちだろうと考えるだけでも胸が痛みます。

新年を迎えたと思ったら立て続けに能登地震と羽田空港での事故。避難されている人たちの気持ちや子どもたちの不安な心を思うと自分のざわつく感情に気が付きます。コロナ禍は終わったわけではありませんが、少しずつ以前の日常が戻ってきたと感じていた矢先、多くの皆さんが私のような気持ちで過ごしているのではないかと想像します。

今、自分にできることはなんだろうか。東日本大震災と同じような無力感、焦り、やるせなさといった様々な気持ちが湧きあがってきます。

先日の研修で聞いた講師のお話の中で、学校でも家庭でも「早くしなさい」と言われてばかりいる子どもたちの話が印象的でした。もっとゆっくり、焦らずに過ごしてもいいのではないかなど、ふと思いました。そんな言葉をかけられるように、私自身も自分の生活を振り返ってみようと思いました。

共同代表理事 鈴木 愛

さいたまチャイルドライン事務局

e-mail:scl@jcom.home.ne.jp

ご連絡はメールにてお願いします